

河合塾全統模試で全国 1 位を取った男が明かす！

日本史勉強法

■免責事項

著者は一切責任を負いません。全て自己責任で行うこととします。

■著作権について■

著作権者の許可を得ずして、本レポートの一部または全部を複製、転載することを禁じます。

本レポートの著作権は著者に属します。

本レポートの使用につきましては十分にご注意下さい。

[illegible]

・はじめに

こんにちは！

このたびは無料レポートをダウンロードしていただき、
ありがとうございます。

このレポートでは、

河合塾の全国統一模試、通称全統模試で、

日本史で1位をとった私が、

日本史の勉強法についてお伝えしますね。

私が大学に向けて日本史を勉強した期間は、

2年間でしたが、その2年間で

全国1位をとれるくらいにまでなりました ^^。

初めてTOPになったのは、2年目の最初の模試でしたね。

その後早稲田に受かるまでの日本史の偏差値は75から、

平均点によっては80オーバーでした。

それでは、あんまり自分のことばかり書いても仕方ないので、

そろそろ本題に入りますね。

・ 全国 1 位を取った日本史勉強法 その 1

では、ここから私がどのようにして日本史を勉強していたのかを、
お伝えします。

まず、日本史の勉強において重点を置いていたのは

反復と集約

です。

反復てのは文字通り繰り返すんですが、

集約というのは、

模試でミスした問題や、授業で習ったこと等を

一冊の教科書に書き込むことです。

そこで、私が使っていた教科書は

山川出版社から出されている詳説日本史という教科書です。

この教科書は学校の指定にもなってることもおおいんで、

知ってる人や現在使っている人もいると思うのですが、

この教科書は基本的なことから、

細かいことまで網羅的に書いてあるので

早稲田大学のようなめっちゃ細かい知識を要求してくるような大学を

受験する人にぴったりの教科書です。

もちろん、早稲田ほど高レベルな大学を受けないという方にもおススメ

です。この教科書を読みこなせる様になればおそらくどのレベルの大学

の日本史にも対応できますからね。

で、この教科書をどうやって使うのかですよ。

それをお伝えします。

教科書の使い方としては、

問題集で間違った問題や、授業で習った知識を書き込んでいき、

教科書をノートに変えてしまう作業をしましょう！！

ただ、日本史をこれから始めて勉強するという人は、

いきなり書き込みとか問題集をやるとかはしないほうがいいでしょう。

まずは、インプットから始めてもらいたいです。

そのため、この教科書を通読するわけですが、

注意してほしいことは、

初めから細かい内容まで見ようとしないでください

世界史もそうですが、日本史にも歴史の流れというものがあり、

初めの教科書を通読では、日本の歴史がどのような流れになって

現代に至っているのか。

歴史の流れをおおまかにつかもうとすること

を心がけて読んでほしいです。

できれば、この通読は出来る限り日を詰めてやってもらいたいですね。

あまりに日が開きすぎると、

記憶が薄れて、掴んでたはずの歴史の流れがぼやけてしまうので ^ ^ ；

そして、一回では当然ぼんやりとしか掴めないので、

最低 2 . 3 回以上は

歴史の流れを掴むための通読をしてほしいです。

早稲田大学をはじめとした上位の私立大学や国公立の 2 次の記述の問題

を見ていただくと分かると思うのですが、

歴史の流れがわかっていることを前提にする問題が多いです。

流れをわかってないと知識だけではどうにもならない問題ばかりなん

ですよ。

そうすると、やはり日本史の勉強では、

歴史の流れを掴むことが日本史の基本中の基本ということになります。

歴史の流れという大きな枠組みを自分の中に作った上で、
細かい知識をその枠の中にはめ込んでいく。
それが日本史のインプットなんですよ。

とまあ、こんなかんじで歴史の大きな流れがつかめたら、
次のステップへ移ります。

・ 全国 1 位を取った日本史勉強法 その 2

前のところでは歴史の流れを大まかに掴むことを強調しました。

じゃあこれだけで大学受験の日本史に対応できるのか。

さすがにそんなに甘くはないです。

流れだけではダメです。

最終的にはそれぞれの大学が要求する知識レベルに達して無くてはならないわけですね。

上位国公立私立大学では、ホントに重箱の隅をつつくような細かい知識まで要求してきたりしますからね。

しかし、歴史の流れを把握してないと、
知識がぶつ切りになってしまい、
記憶してもすぐ覚えたものがとんでしまいます。

いくら覚えていても、
歴史の流れを知っているのと知っていないのとでは、
知識の定着の早さも全然違いますし、
本番でも歴史の流れを頭に描くことで知識を思い出せたりしますからね。

ですので、

**まず、歴史の流れを把握することが
大学受験の日本史を征する第一歩**

と、考えてください。

そして、次に歴史の流れを把握した後、
どのように勉強を進めていくかについてお話します。

今度は、教科書を初めから精読していくんですが、

当然教科書だけでは何が重要なのか。

自分の受ける大学はどんな知識レベルを要求しているのか。

このようなことは教科書を読んでいるだけではわからないと思います。

ですので、教科書と併用する参考書として、



菅野の日本史 B 講義録 1 原始・古代

です。

この本は、日本史選択者では知らない人はいないであろうというくらい超有名な菅野祐考の講義をそのまま本にしたやつで、実際に講義を聴いている感じで、読むことができます！！

この本と教科書の使い方としては、

まず、今日はどれくらい進めるかをまず決めます。

そして、決めた範囲(例えば原始時代)の該当部分を教科書で読みます。

大体ざっとでもいいので読みましょう。

ここで読んでおくのとそうでないのとでは、

後で菅野の本を使った時の理解度が全然違います。

そして、教科書を読み終えたら、

次は先ほど決めた範囲を菅野の本で読んでいくんですが

この時本の中で、重要な板書や語句や説明が結構登場します。

普通の講義ではそれをノートに取るのですが、

これを教科書に書き込んでいきましょう。

本の中では上位国公立や私立の大学の話が出てことがあります。

自分の志望している大学の日本史の話が出た時は

特に目立つようにします。

こうやって教科書をノート化していくわけです。

そして、菅野の本を読み終えた後は、

もう一度書き込んだ教科書を読んでいきましょう。

これが、一回の日本史の勉強です。

この作業を原始時代から現代まで継続してやるわけですが、
インプットだけでなくアウトプットもやって
理解度をチェックしていかなければなりません。

そのために各時代が終了したぐらいに、理解度を確かめるために、



詳説日本史ノート (日本史 B)

を使って、アウトプットを行いましょう。

この本は教科書に対応してるので、
教科書の理解度を確かめるには最適です

そして、このアウトプット段階で、間違えた知識については、
教科書に付箋をはるなりして、間違ったことがわかるようにしましょう。

・ 最後に

いかがでしたでしょうか。

ここでお話した日本史勉強法こそが、
私は王道の勉強の仕方だと思います。

実際に私はこれを繰り返すことで、
大学受験に必要な日本史をマスターし、
見事全国統一模試で1位を獲得し、
常に偏差値は70オーバーでした。

日本史は細かい知識が多くて苦手な人が多いですが、
その分得点源にすれば模試では圧倒的に有利に立てます。
是非とも一人でも多くの人が日本史で高得点を取れるようになること
を祈っています。